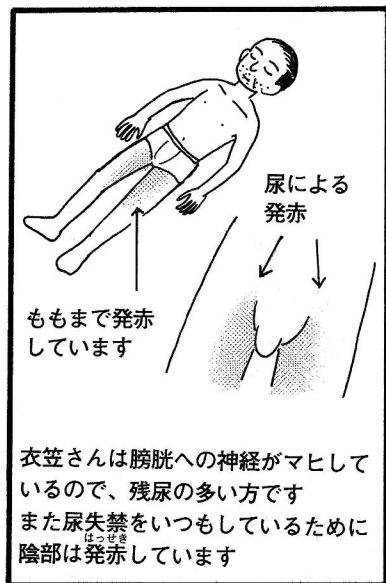
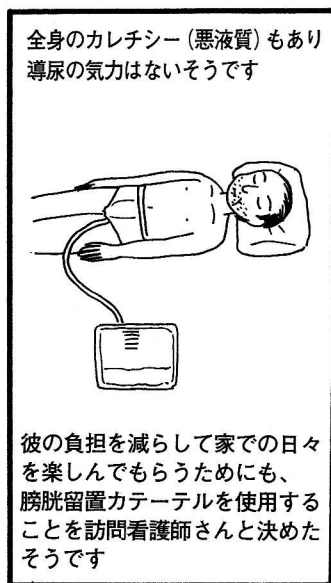
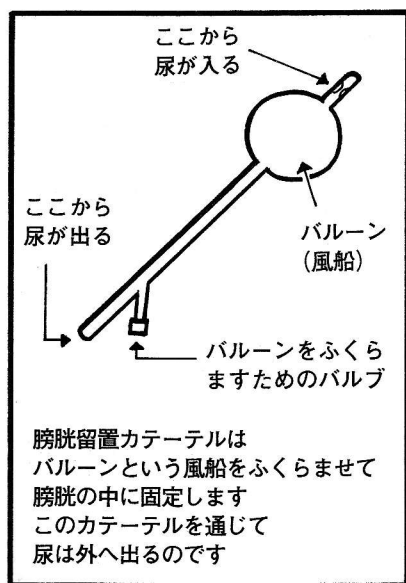


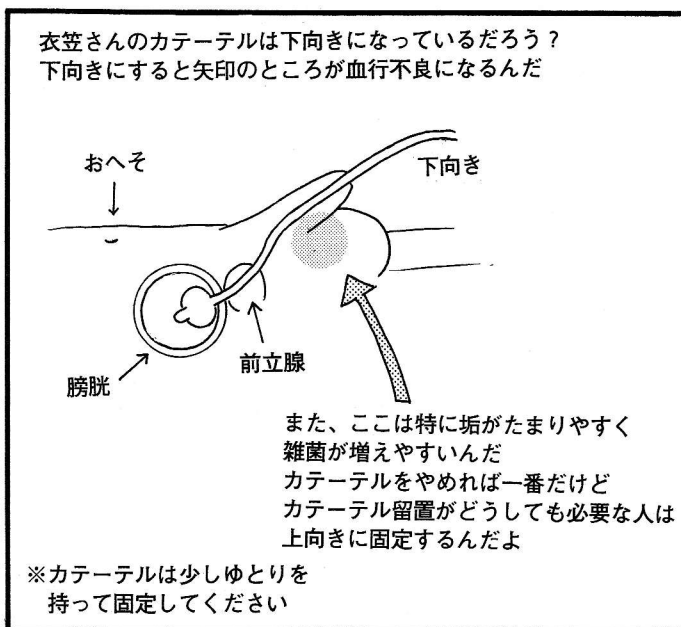
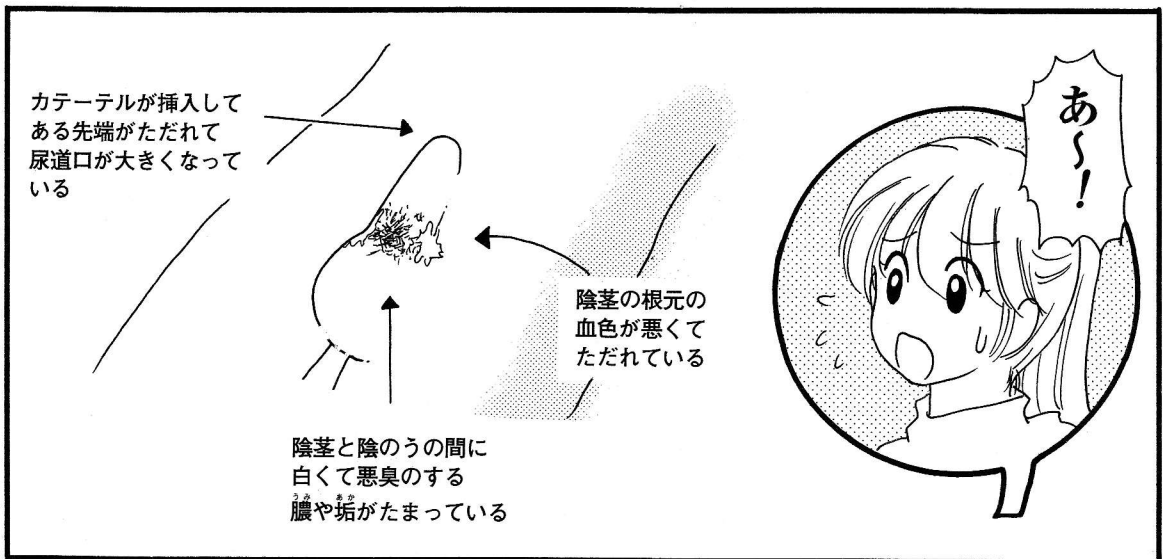
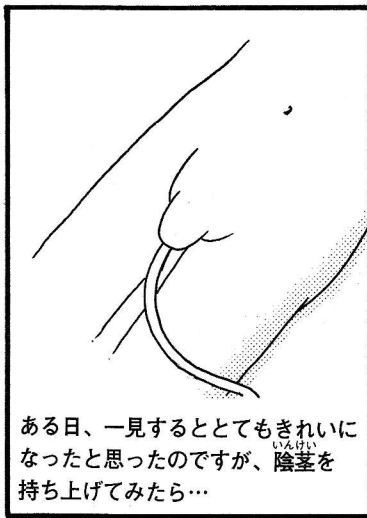
第5話

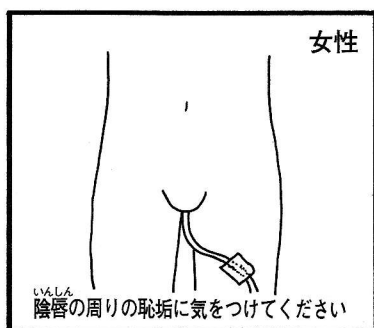
ぼうこうりゅううち 膀胱留置カテーテル ～正しい使用方法～

今回は、さくらちゃんが担当している利用者さん・衣笠さん(男性・69歳)が主役。下半身マヒで自宅療養中の衣笠さんが行っている留置カテーテルについてのポイントです。

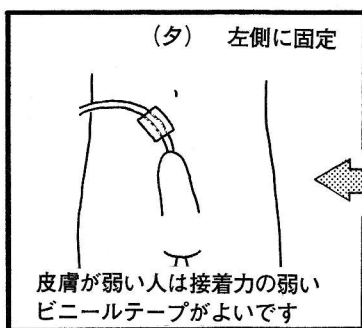
作・奥井識仁 まんが・天星 玲



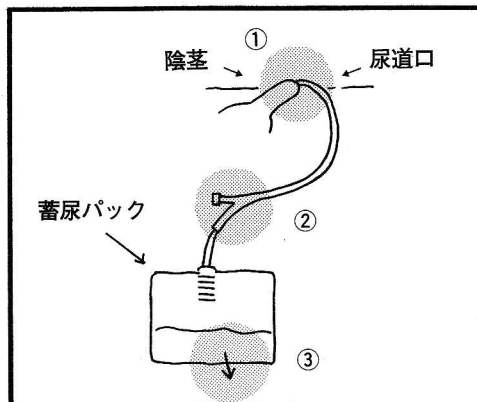
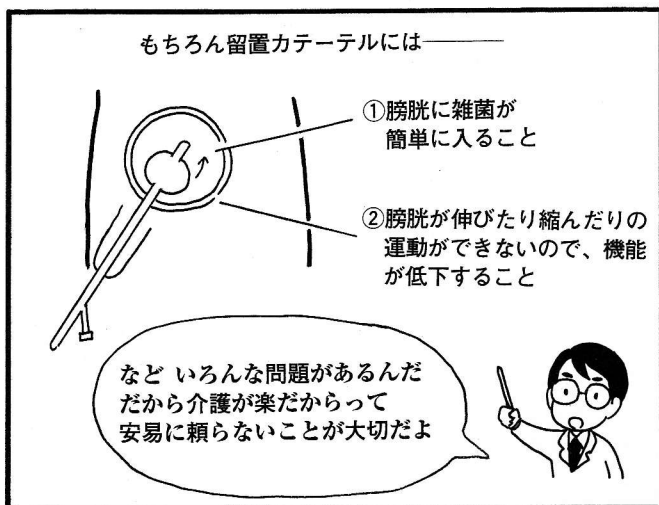
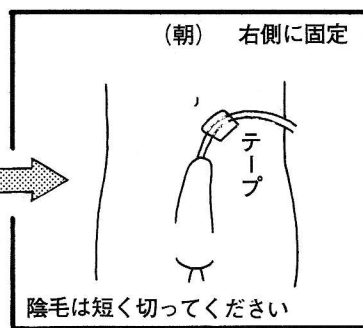




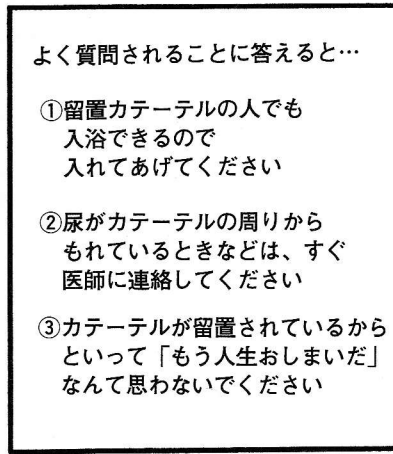
↑女性 は 下向きだよ。女性も男性も尿道口からゆとりをもたせて固定するのが大切だよ



↑男性の場合は、カテーテルは上向きに固定するんだよ
清拭のたびに固定を左右に変えるといいよ



また、①尿道口のところ、②膀胱カテーテルと蓄尿パックの接続、③蓄尿パックの廃液口の三つが雑菌が入りやすいんだ

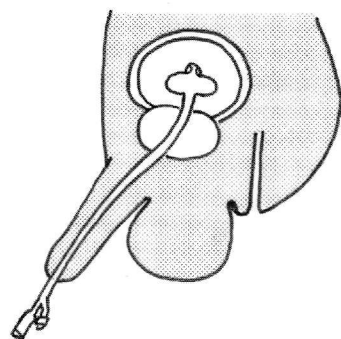


第5話 まとめ

留置カテーテルは、本当は使用しないほうがいいのですが、実際使用している患者さんが増えているようです、ですので、その際、起こる発赤などのトラブルを防ぐために、きちんと固定方法などを勉強しましょう。

「膀胱留置カテーテル

正しい使用方法」



カテーテルが膀胱に入ったままの人をよくみます。医師の立場の私としては痛そうだし、どうにかしてあげたいと思っています。

今回の衣笠さんの場合は、尿道を介してカテーテルが膀胱に挿入されているので、「経尿道的膀胱留置カテーテル（通称：尿道カテーテルあるいはバルーン）」といえます。カテーテルの先端についた風船（バルーン）を水で膨らますことにより、抜けないようになっていきます。カテーテル自体は、異物ですから、尿道から挿入した場合は、大変痛みを生じることもあります。どうしたら痛くないか対策を立てることが大切です。

※残尿があると何が問題なのでしょう？

- ① 雑菌が繁殖しやすい。（つねに流れている川はきれい。ため池は汚い）
- ② たまりっぱなしで伸びきった膀胱は縮む機能を失い、そのうちためる機能も失う。
- ③ 膀胱の感染尿が腎臓に逆流し、腎盂腎炎や腎機能不全（尿毒症）を生じる。